

新年のごあいさつ



福井商工会議所
会 頭 八木 誠一郎



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご健勝のうちに新春をお迎えになられたことを心よりお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて昨年は、新型コロナウイルス感染拡大による行動制限や入国時の水際対策が緩和され、県内各地の祭りや大型イベントが再開し、更には秋口からの全国旅行支援も相まって人の動きが活発化する等、コロナと共存しながら社会経済活動が持続されていく道筋が見えてきました。一方で、エネルギー価格・物価高騰や為替変動、世界的インフレやウクライナ情勢等、経済の先行き不透明感は増しています。

私達経済界は、このような事業環境の変化にしなやかに対応し、事業変革に挑戦していくことが求められています。そのため、福井商工会議所ではDXやGX、事業承継やスタートアップ等の事業変革の起点となる支援事業を展開し、事業の付加価値を高める戦略転換の具現化に向けてサポートさせて頂くと共に、ひいては適正な価格転嫁と賃上げの好循環に繋

げていきたいと思っています。

同時に、急激な環境変化に伴い厳しい経営状況にある企業に対しては、親身かつ丁寧な資金繰りや事業再建の支援に取り組めます。企業の成長と経営安定の両面からのサポートを通じ、地域経済の持続的な発展に貢献して参ります。

また、ウィズ・コロナ社会を確かな成長軌道に乗せていくには、色濃く残る過剰な自粛が解消され、個人消費の回復が不可欠です。当所では電子クーポン券「ふく割」の消費拡大事業を実施し、コロナ禍で特に影響のあった飲食・宿泊等の対面型サービス業の売上回復と域内の需要拡大に取り組んで参ります。会員の皆様には、感染防止対策を継続頂きながら、地元商業サービス業の積極的な消費応援をお願い申し上げます。

北陸新幹線福井開業まで1年3カ月となりました。福井県・福井市・福井商工会議所の三者による「県都にぎわい創生協議会」が策定した『県都グランドデザイン』に基づき、今年は行動計画を着実に実行していく重要な一年になります。

具体的には、福井が誇る食文化を新たな視点で発信する「越前おろしSOBAR（ソバル）プロジェクト」、歴史や恐竜等観光コンテンツの魅力発信強化を図る「美と福の歴史見える化プロジェクト」並びに「ウェルカム恐竜増殖プロジェクト」、交通アクセスを強化する「二次交通エンタメ化プロジェクト」、以上4つの新幹線開業対策プロジェクトに対し、福井商工会議所はプレイヤーとして、まちの賑わいを創出するワクワクする仕掛けや、交流人口の拡大に繋げるための受入環境づくりに、もう一段階ギアを上げて取り組んでいきます。

結びに、大きな社会変容のうねりが押し寄せる中、福井商工会議所自らも変化に即した組織や事業活動にアップデートし、能動的に変革に挑戦していきます。そして、未来を切り拓く福井商工会議所として進取果敢な役割を果たし、皆様と一緒に次なる百年に向けて福井の礎を創っていきたいと思いますので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



日本商工会議所
会頭 小林 健



明けましておめでとうございます。
2023年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、わが国は、過去20年以上にわたる物価、賃金、生産性がほぼ横ばいという停滞が続く、先進諸国に比して相対的に競争力は低下しています。さらに、昨年、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻、世界的なインフレなど、大きな環境変化が次々と押し寄せ、極めて予測困難な状況が続いています。

本年は、こうした大きな環境変化に対応しつつ、人口減少や少子高齢化、社会保障費の拡大、財政赤字、人手不足、エネルギー問題、さらには加速するデジタル化やグローバル化への対応などの構造的課題にわが国が正面から取り組み、成長軌道に戻していくための重要な年になると認識しています。足元では、複合的な要因による物価上昇・円安の影響で中小企業は厳しい状況に置かれています。が、われわれ、企業が成長の原動力であるという当事者意識を持ち、現実を直視し、果敢に自己変革に挑まなければ、こ

の時代を生き抜くことはできません。今こそ、渋沢栄一翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、企業経営者が積極的に行動を起こしていかなければなりません。

経営者の責務は、経済価値、社会価値、環境価値の三つを同時に追求すること、即ち社会に責任を持ち、貢献することだと考えています。中小企業は、変化に対する柔軟な対応力を有しており、経営者と現場の距離も近く、経営者の理念を共有しやすい土壌があります。中小企業こそが自己変革と地域貢献・社会貢献の主役であり、日商の会頭として、私が先頭に立って自己変革に挑戦する中小企業のイノベーション創出と付加価値向上を通じた成長を支援し、大企業と中小企業が共存共栄できる社会を目指していきたいと考えております。

一方、政府の重要な役割は、企業の挑戦を支えるための環境整備にあります。特に「民間投資の強力な推進」「持続的に賃上げできる環境整備」「サプライチェーンの強靱化と経済安全保障」多

様な人材が活躍できる国づくり」の四つの対応を政府には求めたいと思います。特に、中小企業が賃上げできる環境整備に向けて、取引価格の適正化、デジタル化の推進等、生産性向上への支援強化が必要であると考えます。

商工会議所としては、地域の第一線で活躍する会員企業の皆さまと共に、こうした課題や変化をタイムリーに察知し、商工会議所自らも変化に対応できる強い足腰を鍛え、「中小企業のイノベーション創出・成長支援」「大企業と中小企業の共存共栄の実現」「人と企業が輝く地域の創造」の3本柱の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

昨年、日本商工会議所は100周年を迎えました。次の100年に向けて、本年が、「日本再生・変革に挑む」ための力強い一歩を踏み出す年となるよう、スピード感をもって実行していく組織、志を高く、新しい時代を切り拓いていく組織を目指してまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。